

III 教養講座

17 心と身体を癒すメディカルハーブの実践 —生活習慣病予防に活用したいハーブ—

受付終了

4月7日(日)
9:30~11:00

会場 本学当別キャンパス
石狩郡当別町金沢1757

定員 100名

講師 吉田 のり子
一般社団法人
ホリスティックハーバルセラピー
協会理事長

古代から様々なハーブが民間療法として伝承され、植物がもつ有効な成分を健康に役立ててきました。生活の一部を取り入れやすいハーブを活用して、自らの力でこころとからだ全体のバランスを整えていきましょう。

漢方・薬用植物研究講座①
道民カレッジ連携講座 [主Ⅱ-2]
※11:30~13:30に植物観察会があります。
必要に応じて昼食を持参ください。

18 堀田清の薬草帖 外伝①

受付終了

4月21日(日)
9:30~11:00

会場 本学当別キャンパス
C-21講義室
石狩郡当別町金沢1757

定員 100名

講師 堀田 清
本学薬学部准教授

2018年4月から北海道新聞朝刊「くらし面」に連載中のコラム「堀田清の薬草帖」について、掲載しきれなかったことをお伝えするシリーズの1回目です。

漢方・薬用植物研究講座②
道民カレッジ連携講座 [主Ⅱ-2]
※11:30~13:30に植物観察会があります。
必要に応じて昼食を持参ください。

19 北海道医療大学薬草園の舞台裏 —職員目線の見どころ、お知らせします—

受講料
無料

5月12日(日)
9:30~11:00

会場 本学当別キャンパス
C-21講義室
石狩郡当別町金沢1757

定員 100名

講師 大沼 弘樹
北海道医療大学
薬学部附属薬用植物園
管理者

豊かな里山の麓に広がる薬草園では、世界中から集められた色々な植物が栽培されています。お馴染みの植物達の意外な一面や、隠れた見どころ、植物にまつわる舞台裏の小話などをご紹介します。

漢方・薬用植物研究講座③
道民カレッジ連携講座 [主Ⅱ-2]
※11:30~13:30に植物観察会があります。
必要に応じて昼食を持参ください。

認定薬剤師研修対象講座(希望者のみ)受講料2,000円。2単位

20 北海道のキツツキ —キツツキの姿、行動など—

受講料
無料

5月26日(日)
9:30~11:00

会場 本学当別キャンパス
C-21講義室
石狩郡当別町金沢1757

定員 100名

講師 前畑 信一
フォトグラファー

北海道に住む5種類のキツツキを紹介し、写真撮影者の立場から、その行動の不思議さに迫ってみたいと思います。

漢方・薬用植物研究講座④
道民カレッジ連携講座 [主Ⅱ-2]
※11:30~13:30に植物観察会があります。
必要に応じて昼食を持参ください。

認定薬剤師研修対象講座(希望者のみ)受講料2,000円。2単位

講師紹介

▶吉田 のり子(よしだ のりこ)

HHTA認定ホリスティックハーバルセラピスト、アロマハンドタッピングセラピストプロフェッショナル/インストラクター。(株)フィトエナジー代表取締役・日本ホリスティック医学協会北海道事務局運営委員、「アロマハンドタッピングセラピスト」などのホリスティックケア実践の為の様々な講座を企画・講義。予防医学におけるメディカルハーブ、アロマセラピーなどの植物療法、ホリスティックヘルス・ケアの普及に努める。また、統合医療実現の為のボランティア活動にも尽力している。資格:HHTA認定:ホリスティックハーバルセラピスト、アロマハンドタッピングセラピストプロフェッショナル/日本漢方養生学会認定:漢方養生指導士/日本ホリスティック医学協会認定:ホリスティックヘルス塾インストラクター/日本森林療法協会認定:森林セルフケアコーディネーター。

▶堀田 清(ほりた きよし)

1958年生まれ。80年東日本学園大学(現北海道医療大学)薬学部卒業。北海道大学大学院薬学研究科博士課程修了。85~95年北海道大学薬学部助手、米国コロド州立大学化学科博士研究員を経て本学就任。99年~03年まで同薬学部附属薬用植物園園長。07北海道医療大学発ベンチャー企業(株)植物エネルギー設立(代表取締役社長)。専門は、漢方を使った病気予防学、北海道医療大学北方系生態観察園の里山化、乾燥ダイコン葉を使った手作り石鹼の開発。著書に、「植物エネルギー 北方系生態観察園の四季(北海道新聞社、08年)」、「びふか松山湿原の植物エネルギー」(株)植物エネルギー、13年)、「植物エネルギー 北海道医療大学の森(株)植物エネルギー、15年)。15年北海道新聞夕刊版の「ほっかいどう知究人」で紹介される。17年えりも観光大使。18年4月~北海道新聞に植物写真コラム「堀田清の薬草帖」連載中。薬学博士。

▶大沼 弘樹(おおぬま ひろき)

1989年生まれ。酪農学園大学卒、13年北海道大学大学院農学院環境資源学専攻修士課程修了。民間会社で造園緑化や自然環境調査を経て、14年より現職。薬用植物園と、隣接する北方系生態観察園の維持管理に取り組む傍ら、植物の自生地探索や栽培技術研究のため全国を巡る。中学時代から蘭などのアマチュア育種も継続し、自作品種を国際登録(英国王立園芸協会)。日本自然保護協会自然観察指導員、生物分類技能検定2級植物部門、ビオトープ管理士(1級施工部門、2級計画部門)。

【業績】ラン科植物の国際品種登録複数(登録機関:英國王立園芸協会 Royal Horticultural Society)、植物系の学術論文(国内誌、国際誌)・道内同好会誌などへの投稿多数。

【学外の所属】日本自然保護協会、北方山草会、北海道植物友の会、北海道自然史研究会の各会員。

○専門研究分野/花卉・緑地計画学、植物生態学、植物の栽培増殖技術や育種(バイオテクノロジー)として、研鑽を積んでいる。

▶前畑 信一(まえはた しんいち)

1950年生まれ。プラント設計、建設技術者として企業に勤務。関連団体、企業に出向し、フィリピン、シンガポール、中国、豪州などで勤務。退職後は、鳥、植物などの写真を撮影し、フォトグラファーとして、研鑽を積んでいる。

21 第33回 薬草園を見る会 北方系伝統薬物研究セミナー

受講料
無料

6月15日(土)
[講演]10:00~12:00
[薬草園見学会]13:00~16:00

会場 本学当別キャンパス P-1講義室
石狩郡当別町金沢1757

定員 200名

共催/日本生薬学会北海道支部
日本薬剤師研修センター「漢方薬・生薬認定薬剤師制度」必須研修(受講シール配布予定)

道民カレッジ連携講座 [主Ⅱ-1]

講演

北海道の自然を安全に楽しむために 10:00~10:35

高上馬 希重
本学薬学部准教授

化粧品開発における植物資源の有効活用 お肌も喜ぶフィトケミカル

講師 染谷 高士
株式会社アルビオン常務取締役

化粧品開発において、植物成分は健康で美しい肌を維持するために重要な役割を演じています。これら植物のトレーサビリティ及びサステナビリティに焦点を絞り、アルビオンでの商品開発事例をご紹介したいと思います。

薬草園見学会

薬草園見学会 13:00~16:00 薬用植物園・北方生態観察園の自由見学

[事務局] 北海道医療大学 薬学部 生薬学研究室

[参加申込み・お問い合わせ] 北海道医療大学 地域連携課 (0133-23-1129)

22 生薬「槐花」で絹を オリーブグリーンに染める

受講料
有料

7月28日(日)
12:00~15:30

会場 本学当別キャンパス
北方系伝統薬物研究センター
石狩郡当別町金沢1757

定員 15名(抽選) 締切7/5

受講料 2,500円

当別町共催セミナー①
道民カレッジ連携講座 [共-1]

講師 角寿子
染織家
NPO法人アースネットワーク
理事長

高上馬 希重
本学薬学部准教授

アカシアの仲間であるエンジョイの蕾は生薬ではカイカ「槐花」といいます。有効成分:ルチンは黄色を呈し、日本の代表的な黄色染料で、学名はサフランジャポニカといいます。媒染を工夫して絹のストールをオリーブグリーンに染めます。

23 東洋医学における鍼灸治療 —鍼とは何ぞや?—

受講料
無料

8月25日(日)
9:30~11:00

会場 本学当別キャンパス
石狩郡当別町金沢1757

定員 100名

漢方・薬用植物研究講座⑤
道民カレッジ連携講座 [主Ⅱ-2]
※11:30~13:30に植物観察会があります。
必要に応じて昼食を持参ください。

認定薬剤師研修対象講座(希望者のみ)受講料2,000円。2単位

講師 石井 瞳宏
石井鍼灸接骨院院長

鍼灸治療の考え方、どの様な時に施術をするのか。鍼灸治療について理解を深めて頂きたい、排尿障害や神経痛等といった身近な症例を交えてお話をさせていただきます。

講師紹介

▶高上馬 希重(こうじょうま まれしげ)

1967年生まれ。広島大学大学院医学研究科分子薬学系博士課程修了。97年国立医薬品食品衛生研究所薬用植物研究場研究員、01年理化学研究所植物科学研究センター研究員、03年東京大学大学院農学生命科学研究科助手を経て、07年より現職。
○専門研究分野/生薬学、薬用植物学

▶染谷 高士(そめや たかお)

1957年生まれ。中央大学理工学部卒業。80年株式会社コーポーに入社、08年株式会社アルビオンに転籍、11年同取締役就任、17年より現職。

○専門研究分野/化粧品

▶角寿子(すみ ひさこ)

北海道大学科学技術コミュニケーションセンター養成プログラム修了。84年北の藍染織工房設立代表、94年アースネットワーク創立、02年NPO法人アースネットワーク発起人、理事長就任。04年天然染料顔料会議発起人、事務局長就任。99年「発酵染と鉱泉媒染による植物染」ノーステック財団一般道民賞受賞、同年「EZOTAISEI」フランスで研究発表。99~17天然染料国際会議にて研究発表・講習・出品。07~09年北海道文化財団「天然の色展」共催、07年~国内外企業やNGOとの染色技術開発に従事する。
○専門研究分野/藍染料の研究

▶石井 瞳宏(いしい むつひろ)

1960年生まれ。札幌学院大学、北海道柔道整復専門学校、北海道鍼灸専門学校卒業。中村脳神経外科記念病院、恵心会病院を経て、01年より現職。
○専門研究分野/脳卒中後遺症